

2024年9月11日

コンサルタント会社 御中

一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会関東支部

2024年度 ダクタイトイル鉄管技術講習会のご案内

拝啓 処暑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は日本ダクタイトイル鉄管協会に対し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊協会関東支部では、上下水道管路の更新をめぐる様々な状況の中、上下水道管路の更新促進並びに高機能化を目指すべく、ダクタイトイル鉄管の技術的検討および広報活動を継続的に行っております。

その活動の一環として、弊協会関東支部におきまして、今年度もコンサルタント会社の皆様を対象に「ダクタイトイル鉄管技術講習会」を下記の要領にて開催することに致しましたので、多数様のご参加をお待ちしております。

敬具

1.日時、講習内容

	実施日	時間	講演テーマ	対象	備考
第1回	7月5日(金) 実施済	13:00~17:00 (12:45より受付)	テーマ① ダクタイトイル鉄管の基礎知識	実務経験の浅い方	筆記用具、電卓が必要
			テーマ② 管路設計上の留意点		
第2回	9月6日(金) 実施済	13:00~17:00 (12:45より受付)	テーマ① 耐震型ダクタイトイル鉄管の概要と設計上の留意点	設計実務者	筆記用具、電卓が必要
			テーマ② GX形の設計演習		
第3回	10月4日(金) 今回申込み	13:30~16:45 (13:15より受付)	テーマ① マンホール蓋試験検証施設の見学 (展示室見学、すべり実験、水理モデル実験、マンホール蓋浮上試験、現品紹介等)	全ての方 (下水道分野に限りません)	-
			テーマ② 下水道で活躍するダクタイトイル鉄管 (圧送式輸送システムの特徴や利点、DIPの特徴)		
第4回	11月14日(木) 後日申込み	13:00~16:40 (12:45より受付)	テーマ① ダクタイトイル鉄管の製造現場の見学	全ての方	作業服が必要
			テーマ② GX形の接合デモンストレーション		

注) 第4回は、後日改めてご案内致します。

また、講演テーマおよび日程等が変更になる場合がありますのでご了承願います。

2.会場

株式会社 G&U 技術研究センター

住 所：埼玉県比企郡川島町大字吹塚 732-157

電話番号：TEL049-299-1028

***アクセスは別添資料をご参照ください。**

注) 次に予定している第4回はクボタ京葉工場（船橋市栄町 2-16-1）

3.参加費

講習会の受講費は無料です。

（ただし、会場までの交通費等は各自でご負担願います。）

4.参加申し込み

添付「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、**9月25日（水）**までに、「参加申込み用メールアドレス」にメール送信をお願いいたします。

お申込みいただいた場合には、参加申込みメール受信後1週間以内に弊協会より申込み受付完了のメールを返信いたしますので、弊協会より申込み受付完了メールが返信されない場合は、宍倉までお問合せをお願いいたします。

なお、誠に勝手ながら会場の都合上、1社当たりの参加人数を4名様までとし、参加申込み数が定員になり次第、申込みを締め切らせていただきますので、ご了承ください。

※今回のG&U見学会の定員は、30名となります。

「参加申込み用メールアドレス」

y-shishikura@jdpa.gr.jp（日本ダクティル鉄管協会 関東支部 宍倉）

5.連絡先

何かご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

日本ダクティル鉄管協会 関東支部 宍倉 TEL 03-3264-6655

6.スケジュール

第3回／10月4日（金）

時 間	内 容	講 師	備 考
13：15～13：30	受 付		15 分
13：30～13：40	開催挨拶	日本ダクタイトイル鉄管協会	10 分
13：40～15：40	マンホール蓋試験検証施設の見学 (展示室見学、すべり実験、水理モデル実験、マンホール蓋浮上試験、現品紹介等)	G&U 技術研究センター 説明員	120 分
15：40～15：50	休 憩		10 分
15：50～16：30	下水道で活躍するダクタイトイル鉄管 (圧送式輸送システムの特徴や利点、DIP の特徴)	日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員	40 分
16：30～16：40	休 憩		10 分
16：40～16：45	閉会挨拶	日本ダクタイトイル鉄管協会	5 分

注) 第4回開催予定のスケジュールについては、後日、ご案内いたします。「ダクタイトイル鉄管技術講習会のご案内」にてご確認ください。

7.CPD プログラム認定について

本技術講習会では CPD プログラム認定は実施しておりません。

ただし、ご希望の方には受講証明書を発行いたします。

8.新型コロナ対策について

【ご来場時】

- 会場に入る前に、手洗い・手指消毒のご協力をお願い致します。
- 会場内でのマスクの着用は個人の判断にお任せします。

受講中、体調が悪くなった際は無理せず弊協会関係者にお申し出ください。

【参加申込書】

一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会

関東支部 宍倉 行き

申込みメールアドレス： y-shishikura@jdpa. gr. jp

「2024年度 ダクタイトイル鉄管技術講習会」参加申込書

下記のとおり、参加を希望いたします。

- ・所属会社・部署名と氏名を下表にご記入願います（経験年数は任意）。
- ・参加人数は4名様までとし、参加申込み数が定員となり次第、申込みを締め切らせていただきます。
- ・申込み完了後の変更については、「[y-shishikura@jdpa. gr. jp](mailto:y-shishikura@jdpa.gr.jp)」までご連絡をお願いします。

※参加申込みの代表者氏名（問合せ窓口）：

電話番号（当日連絡用）：

実施日	会社・部署名	氏名	経験年数	受講証明書	駐車場 ※必要時は台数
第3回 10月4日 (金)				必要・不要	必要・不要 ()台
				必要・不要	
				必要・不要	
				必要・不要	

注) 第4回の技術講習会の参加申込みは、後日、改めてご案内いたします。

以上

別添資料

会場までのアクセス

<所在地>

〒350-0164
埼玉県比企郡川島町大字吹塚732-157
TEL 049-299-1028 (代)



<アクセス方法>

電車の場合

(バスのご利用は次ページ参照)

○JR埼京線または東武東上線 川越駅下車 東口からバスまたはタクシーで約30分

○西武新宿線 本川越駅下車 東口からバスまたはタクシーで約30分

○JR高崎線 桶川駅下車 西口からタクシーで約25分 ※バスの運行はございません

○JR高崎線 鴻巣駅下車 西口からバスまたはタクシーで約25分

車の場合

○東京方面から

関越自動車道下り～鶴ヶ島JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折

○群馬方面から

関越自動車道上り～東松山ICより国道254号線を川越・川島方面へ
『中山』交差点を左折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折

関越自動車道上り～鶴ヶ島JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折

○栃木・茨城方面から

東北自動車道上り～久喜白岡JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折



公共バスのご利用案内

●川越駅からバスに乗る場合

バス乗り場：4番乗り場（川越03 鴻巣免許センター、鴻巣駅西口、新荒子行き）
東武東上線側「東口」正面 左から2番目の階段を降りる

降車バス停：川島農協前下車すぐ

運賃：460円
所要時間：約30分

時	分
8	
9	
10	35
11	
12	35
13	
14	00
15	
16	00



東武バスHPより引用して一部加筆

●鴻巣駅からバスに乗る場合

バス乗り場：1番乗り場（川越03 川越駅行き）

駅改札左側「西口」の階段を降りる（駅改札から2～3分程度）

降車バス停：川島農協前下車すぐ

運賃：510円
所要時間：約25分

時	分
8	43
9	30
10	
11	
12	00
13	
14	08
15	29
16	



東武バスHPより引用して一部加筆

◇お帰り（川島農協前発）

川越駅行き		鴻巣駅西口行き	
時	分	時	分
10		10	
11		11	
12	18	12	
13		13	
14	26	14	
15	47	15	
16		16	
17	48	17	
18		18	00

- ・バスの本数が少ないため、最寄駅からタクシーのご利用をお奨め致します。
- ・お車での来場も可能ですが、駐車場台数に限りがあり、先着順でのご案内となります（5台）。※極力乗り合わせでの来場にご協力をお願いします。

<参考> 主な見学内容

○水理モデル実験見学

◆水理シミュレーション

地下に埋設されていて、普段は見る事が出来ない下水道管路を再現したモデルを使って、豪雨時にマンホールふたを浮き上がらせたり、飛散させたりする下水道管路内の水理現象を見ていただきます。

当日は「下水道マンホール安全対策の手引き(案)」に紹介されている13事例の中から、次の2事例を再現いたします。

- ① 満管状態でゲートを遮断させた場合
- ② 雨水放流先の水位上昇による跳水の移動



○浮上試験見学

◆浮上試験

水理モデルで見ていただいた豪雨時の下水道管路内の現象を、実際のマンホールふたで再現し、マンホールふたの圧力解放/耐揚圧性能を体感していただきます。

当日は、「かぎ無しのかぶた」と、「かぎ付き(浮上防止機能付き)のかぶた」との違いを見ていただきます。

